

4 Lesson 1 This Is My House (1)

過去にしたことを伝えよう

英語監修・出演 阿野幸一

きょうの目標 過去にしたことを伝えることができる

- 過去にしたことを伝えるには — 動詞の形に注目
- 一般動詞の過去形 — 2つの形

文法・表現 一般動詞の過去形

過去にしたことを伝えるには — 動詞の形に注目

次の2つの文を比べてみましょう。

- ① I **watch** a drama on TV every night.
(私は毎晩、テレビでドラマを **見えています**。)
- ② I **watched** a drama on TV last night.
(私は昨夜、テレビでドラマを **見ました**。)

まず下線部に注目しましょう。①の文では、**every night** (毎晩) ということ、毎日夜になるとテレビでドラマを見ていることがわかります。つまり、習慣としておこなっている動作を表す文になっています。これに対して②の文では、**last night** (昨夜) ということから、きのうの夜にテレビでドラマを見たことを伝えていて、「きのうの夜」におこなった過去の動作を表しています。

次のこの2つの文の動詞の形 (□ の部分) を比べてみましょう。

①では **watch** (～を見る) という動詞が現在形で使われています。ここでは主語が I のため、もとの形 (原形) である **watch** と同じ形になっています。主語が **He** や **She** ならば、動詞は **watches** になります。

しかし、②の文では **watch** の後ろに **ed** がついた **watched** という形になっています。このように **ed** がつくことで、(～を見た) という過去の動作を表すことができます。この動詞の形を過去形と言います。そして、主語が **He** や **She** であっても、過去形は、I の場合と同じく **watched** になります。

一般動詞の過去形 — 2つの形

一般動詞の過去形には、規則的に変化をして **ed** で終わる形になる規則動詞と、動詞そのものの形を変えて不規則に変化する不規則動詞があります。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

■規則動詞の例

- 動詞の後ろにedをつける

I **play** tennis every day, but I **played** soccer yesterday.

(私は毎日テニスをしています、きのうはサッカーをしました)

- 動詞の後ろにdだけをつける。(動詞の最後がeで終わっているため)

I **live** in Tokyo now, but I **lived** in Osaka last year.

(私は今東京に住んでいますが、去年は大阪に住んでいました)

- 動詞の最後を変えてedをつける

I **study** English this year, but I **studied** Chinese last year.

(私は今年英語を勉強していますが、去年は中国語を勉強していました)

■不規則動詞の例

I **get** up at seven every morning, but I **got** up at six this morning.

(私は毎朝7時に起きていますが、今朝は6時に起きました)

I **go** to school by bike every day, but I **went** to school by bus today.

(私は毎日自転車で学校へ行きますが、きょうはバスで学校へ行きました)

▶一般動詞の過去形の否定文と疑問文

■否定文

動詞の前に **didn't (did not)** を入れると否定文になります。**did** は **do** が不規則に変化した過去形のため、**did** を使った否定文では、動詞を過去形にする必要はありません。過去を表す役割は **did** がしているため、動詞はもとの形(原形)になります。また、主語が単数でも複数でも **didn't (did not)** を使います。

It **didn't (did not)** rain last weekend. (先週末は雨が降りませんでした)

- ➔ **didn't** が過去を表しているため、そのあとに続く動詞は **rained** と過去形にはならないで、**rain** ともとの形(原形)になります。

■疑問文

文のはじめに **Did** を置き、最後に **?** をつけると疑問文になります。**Did** を使った疑問文の場合には、動詞を過去形にする必要はありません。また、主語が単数でも複数でも **Did** を使います。

Did you see that show yesterday?

(あなたはきのう、あの番組を見ましたか?)

- Yes, I did.

(はい、見ました)

- No, I **didn't (did not)**.

(いいえ、見ませんでした)

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

疑問詞で始まる疑問文の場合には、**did** を疑問詞の後ろに入れます。

What did you **eat** last night?

(あなたは昨夜、何を食べましたか?)

- I **ate** steak last night.

(昨夜はステーキを食べました)

あの先生のこの話!



規則動詞と不規則動詞

動詞にはなぜ規則動詞と不規則動詞があるのでしょうか？ すべての動詞が規則変化をすれば、覚えるのも簡単になるかもしれませんね。でも不規則動詞は、実は覚えて身につけやすいものが多いのです。

次の動詞を見てみましょう。どれも代表的な不規則動詞です。

もとの形(原形) 〈意味〉	過去形
eat 〈食べる〉	ate
sleep 〈眠る〉	slept
go 〈行く〉	went
sit 〈すわる〉	sat
see 〈見る〉	saw
speak 〈話す〉	spoke

どの動詞も、私たちが日常的にしている動作ではないでしょうか？ 実は不規則動詞は、このように私たちの生活に身近なものが多いのです。英語の歴史をさかのぼると、とても多くの動詞がそれぞれに不規則変化をしていました。しかし、言葉は時代とともに変化し、よりわかりやすいルールに従ったものになっていく傾向があります。このため、多くの不規則動詞が規則変化になってきました。しかし、毎日使っているような身近な動詞については、無意識のうちに使い続けているため、規則変化になることなく、今でも不規則変化のまま残っているのです。

不規則動詞を使えるようになるためには、どうしたらいいのでしょうか？ そうです。私たちが毎日の生活を英語で表現してみれば、自然と繰り返し使うことになります。使いながら身につけるのが言葉です。早速、きょう一日の生活を英語で表現してみましょう！
